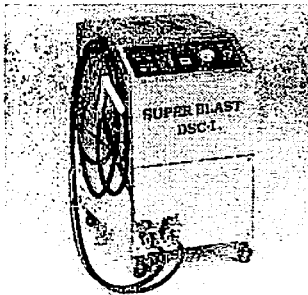


## ■新技術

■ドライアイスで洗浄 ドライアイスといえば、保冷用だけかと思っていたら、ドライアイスを使った洗浄方法があるそうだ。

粒状のドライアイス汚れた面に強く吹きつけると、汚れ、油、ゴミなどがきれいに落ちる。水、砂などを吹き付け、汚れや塗装などをはぎ取るブラスト洗浄の一種で、30年ほ



ど前に米国で生まれた技術だという。

ドライアイスブラスト洗浄は、航空機、電車など「大物」が大半だったが、協同インターナショナル(川崎市宮前区)は、金型、半導体部品などの微細な精密

部品を洗浄できるドライアイス洗浄機「スーパーブラスト DSC-I」＝写真＝の開発に成功、販売を開始している。

ドライアイスを吹き付けるだけで、汚れが落ちるのは不思議なのだが、この装置を開発した湯川弘之取締役電子営業部長によると

「ゴミの付着面にドライアイスの粒(直径0.3mm)が衝突した瞬間に、サーマルショック(急激な温度変化による衝撃)という現象が起き、汚れた面にヒビを発生させ、同時にドライアイスが昇華(固体が気体へ変化)、およそ750倍に膨張することで、付着している汚れやゴミなどを取り払ってくれます」と、キレイになる仕組みについて語っている。

機材本体の面などにキズを付けることなく、微細なものまで洗浄できることから、半導体製造装置、金型の洗浄技術として急速に広まり始め、しかも、廃液が出ないことから、環境にやさしい洗浄方法として自動車業界、機械メーカーなどからも注目を集めている。

同装置は、注射針のバリ(加工工程でできるわずかな削り残り)取りにも対応できるなど、応用範囲も広く、池田謙伸社長は、洗浄分野とともに「スーパーブラスト」の新たな活用分野を積極的に開拓する考えだ。

◇

協同インターナショナル 〒216-0033  
川崎市宮前区宮崎2の10の9、オーミヤ宮崎台ビル、☎044(853)2611、ファクス 044(854)1979。電子メールinfo@kyodo-inc.co.jp、URLは<http://www.kyodo-inc.co.jp/>

(情報提供・川崎市産業振興財団)